

はじめに

寒さもいちだんと厳しくなりましたが、戸谷地区の皆様には健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。最近、インフルエンザの流行をよくニュースで聞きますので、皆様も予防等に十分注意していただき、この冬を元気で過ごしていただきたいと思います。

砂防事業って何をしているの？

砂防事業とは降雨や地震などに伴って発生する土石流に対し、砂防えん堤等を設置することによって県民の生命や財産を守る仕事です。明治30年3月に施行された「砂防法」に基づいて、砂防指定地における行為制限や土石流対策工事を実施しています。

兵庫県の砂防の歴史は古く、明治28年に武庫川、夢前川流域でえん堤工、山腹工などの県営砂防工事が実施されたのが始まりです。兵庫県下の土石流危険渓流のうち、土石流により被害を受ける可能性のある箇所（人家が5戸以上または官公署、学校、病院、旅館等のある箇所）は、4,310にものぼります。これらのうち、1,451箇所に着手しており、砂防施設の整備率は約34%（平成29年3月）です。

土石流危険渓流、砂防指定地ってどんなもの？

兵庫県の砂防課で管轄している土石流危険渓流は、土石流の発生する危険性があり、人家等に被害を及ぼすおそれのある渓流です。

砂防指定地は、土砂の生産を促すような行為を制限する必要がある土地や、流れ出す土砂の量を調節するため砂防えん堤や護岸といった砂防設備を設ける必要がある土地を国土交通大臣が指定するものです。

砂防事業における主な対策工

1. 砂防えん堤工

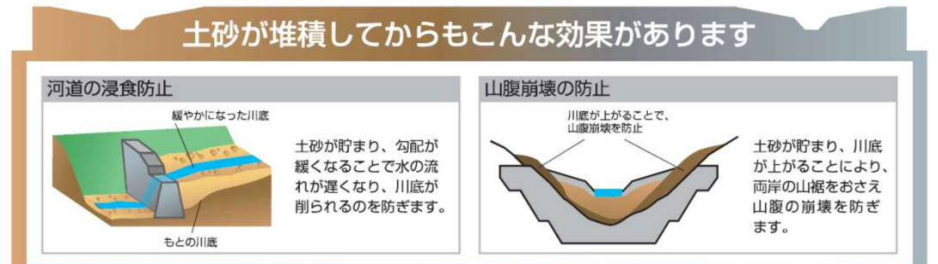
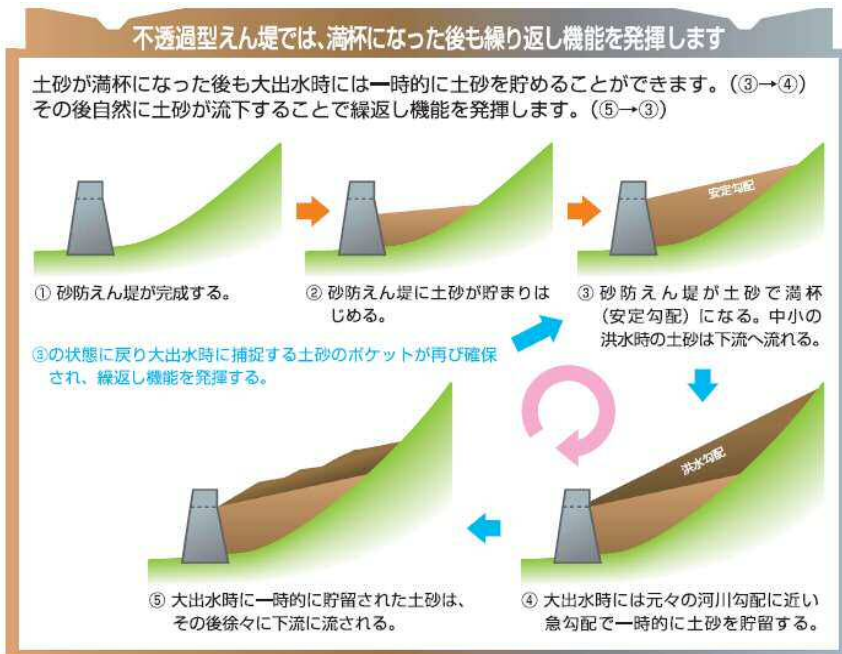
発生した土石流を直接捕捉し、また大雨時に流出する土砂を一時的に貯留して調整します。近年、えん堤中央部にスリットを設け、通常時の無害な土砂は下流に流し、流木の捕捉効果が高い透過型えん堤も多く設置しています。

2. 渓流保全工

屈曲した川の流れを是正し、流水による溪岸侵食を防ぎます。また、自然環境に配慮した施設や、川に訪れる人が水辺空間として親しむことのできる施設も設置しています。

3. 山腹工

荒れた山腹から土砂が流れ出るのを防ぐために、法枠工や植樹等により斜面を安定させ、土砂の発生を抑制します。



効果事例

平成16年や21年の台風による出水では、設置したえん堤で土砂や流木が捕捉され、災害の防止に寄与していることが確認されています。

■ 不透過型えん堤効果事例



■ 透過型えん堤効果事例



今後の工事の予定

工事の進捗状況ですが、12月15日に工事範囲の伐採が完了し、12月18日より本堰堤の掘削に着手しております。今後は、引き続き本堰堤の掘削を行い、2月初旬より索道(ケーブルルン)の設置及び防音壁の設置を行います。掘削作業につきましては、約1ヶ月間の作業となり、岩盤を破碎しながら進めて参りますので、騒音・振動対策を行い作業して参ります。2月初旬より残土搬出の作業も予定しております。引き続き町道は20km/h制限で走行し、適期散水車による道路清掃をしてまいりますので、何かご不明な点等ございましたら下記の連絡先までお問合せ下さい。

■ (株)松本組 繁養寺川砂防堰堤工事作業所

現場代理人 村田 智史

電話：090-8574-8117(携帯)

本新聞は毎月1回発行予定です。

★繁養寺川砂防堰堤工事だよりは、(株)松本組ホームページからも閲覧できます。<http://mazmotogumi.co.jp/>